2023年3月期　第2四半期
決算説明資料

2022年11月10日

日本ピグメント株式会社

2023年3月期　第2四半期　業績ハイライト

自動車減産の影響を受けた樹脂関連在庫調整等から、売上高は減少
原油をはじめとする資源高等による製造コスト増もあり、営業利益は悪化

売上高

営業利益

2023年3月期　第2四半期　業績ハイライト

経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益も、営業利益と同様に前年同期比で減益

経常利益

親会社株主に帰属する当期純利益

2023年3月期　第2四半期　連結営業利益の増減要因

2023年3月期　第2四半期　セグメント別実績概況
①　日本

○　自動車向け需要の回復の遅れ等により国内売上は前年同期比で減少

・自動車向け半導体不足の影響が想定以上に長引き、樹脂全般で需要減少、樹脂コンパウンド部門は売上減
・樹脂用着色剤部門は、建材向け需要は堅調であったものの、フィルム、化粧品向け等の需要回復の遅れもあり、売上減
・中国ロックダウンの影響から、大型液晶パネル用途向け液体分散体需要が低調となり、加工カラー部門も売上減

【セグメント別売上高の推移】　（百万円）

2023年3月期　第2四半期　セグメント別実績概況
②　東南アジア

・　一部の原料不足、部材不足の影響を受けた顧客減産もあり販売減も、為替、原材料価格の影響もあり、売上高は微増

【セグメント別売上高の推移】　（百万円）

今後の見通し

○　足許の外部環境は、①自動車生産回復の遅れ、②資源価格の高止まり、ユーティリティコスト上昇の継続、③円安傾向の長期化など、厳しい状況が継続する見通し

日本

○　自動車向け需要は2023年に向け緩やかに回復の見込み。一方、製造関連コストは高止まることから、一層の効率的な運営を推進

- 樹脂コンパウンド部門は、自動車向け等での半導体不足の影響は残るものの、売上回復を見込む
- 樹脂用着色剤部門は、建材関係は堅調推移。その他向け用途での販売増を目指す
- 加工カラー部門は大型パネル用途向け需要低迷も、建材向け用途等、内装材関連等での販売増を目指す

東南アジア

○　インドネシア等での自動車生産は回復基調にあり、原材料価格の高止まり等のマイナス要因はあるものの、増収を目指した運営を継続

2023年3月期　通期連結業績予想の修正について

売上高	通期業績予想 28,700百万円	22年上期実績 13,394百万円 進捗率46.7%
営業利益	通期業績予想 900百万円	22年上期実績 ▲50百万円 進捗率　－
経常利益	通期業績予想 1,000百万円	22年上期実績 76百万円 進捗率7.6%
当期純利益	通期業績予想 600百万円	22年上期実績 64百万円 進捗率10.7%

通期業績予想の修正

22年上期実績は日本、東南アジアともに当初予想を大幅に下回る結果となり、下期も、回復は見込むものの、当初業績予想水準の確保は難しい状況

（百万円）

	当初予想	修正後予想	修正幅
売上高	28,700	29,700	+1,000
営業利益	900	350	▲550
経常利益	1,000	500	▲500
当期純利益	600	300	▲300

株主還元について

○　当社の配当に関する基本方針は、株主の皆様への安定配当の継続を基本に、当期と今後の業績及び営業基盤強化のための内部留保を勘案して決定

⇒　2023年3月期配当額は、従前公表のとおり1株あたり100円を予定

	2021年3月期実績	2022年3月期実績	2023年3月期予定
1株あたり配当額	50円	100円	100円

連結貸借対照表等の概況

資産

○ 流動資産における製品、原材料の増加

負債

○ 大きな動きなし

純資産

○ 為替換算調整勘定の増加

D/Eレシオ

0.67 （2022年3月末 0.65）

自己資本比率

連結損益計算書の概況

（百万円）

		2021年上期	2022年上期	増減率
売上高		13,835	13,395	▲ 3.2%
	売上総利益	2,359	1,522	▲ 35.5%
	販管費計	1,523	1,572	3.2%
営業利益		836	▲ 51	-
	営業外収益計	137	206	49.9%
	営業外費用計	69	79	15.6%
経常利益		905	76	▲ 91.6%
	特別利益計	1	26	-
	特別損失計	3	0	▲ 85.9%
税金等調整前当期利益		903	102	▲ 88.7%
法人税等計		253	17	▲ 93.3%
当期純利益		649	85	▲ 86.9%
親会社株主に帰属する当期純利益		603	64	▲ 89.3%

- 本資料は、投資家の皆様に会社内容の理解を深めていただくための資料であり、投資勧誘を目的としたものではございません
- 記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、及び当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではございません
  また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります

色のプロフェッショナルとして80年

Pigment 日本ピグメント株式会社